

中央小学校のとりくみ



貝塚市立中央小学校

児童数 579名

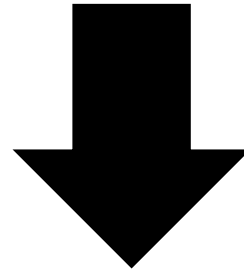
学級数 25クラス（支援学級7クラス含む）

1.研究テーマの設定

R5～

学校教育目標

「認め合い・伝え合い・高め合い」



R5～

自分の言葉で話せ、友だちの意見も聞ける子
をはぐくむ

R7年度は言語能力をはぐくむモデル校として研究

2.言語能力をはぐくむモデル校として

①どの教科でも言語能力をはぐくむという視点をもって授業改善

②読書量を増やす取り組み



3.研究内容

- ①自分の考えを広げる話し合い活動
- ②単元を貫く言語活動の設定
- ③並行読書を取り入れた学習活動

授業改善

研究授業

市教育センター
顧問による授業
参観&指導助言

教材分析会

自主研修

SE通信

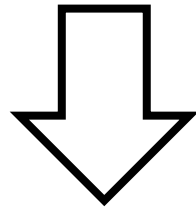


ことばのちから パワーアップシート

	低学年	中学年	高学年
話すこと 書くこと	keyword	keyword	keyword
	【話す】身近なこと 事柄の順序 【聞く】知らせたいことや聞きたいことを落とさない 【話し合う】相手の発言を受ける 話をつなぐ	【話す】理由や事例 話の中心 【聞く】記録 質問 伝えたいことや聞きたいこと 【話し合う】司会の役割 互いの意見の共通点や相違点	【話す】事実と感想 意見の区別 話の構成 【聞く】話し手の考えとの比較 【話し合う】互いの立場や意図 計画的
	内容	内容	内容
	1.「私は…です」などを主語を明確につけて話す 2.「初めに…次に…」など順序に気をつけて話す 3.「私は…です。なぜなら…」など簡単な理由をつけて話す 4.大切なことを、数えながら聞く 5.発言に対して「あなたはなぜ…なのですか」などと質問する 6.簡単なインタビューをする	7.「私は…です。理由は〇つあります。一つ目は…」などと結論を先に、その理由を後につけて話す 8.話を聞いて、大切な言葉(単語)や箇条書きでメモをする 9.話を聞いて、自分と同じ意見、異なる意見をグループ分けする 10.司会、提案者などの役割を意識して話し合う	11.はじめに結論を話し、意見を述べる 12.話し手の意見と自分の意見の同じところと異なるところを比べて聞き、自分の意見を述べる 13.賛成と反対の立場を決めて、それぞれの立場から理由を明確にしながら話し合う
書くこと	keyword	keyword	keyword
	【題材】経験したこと 想像したこと 【構成】順序の整理 簡単な構成 【考えの形成】内容のまとめ	【題材】相手や目的を意識 経験したこと 想像したこと 【構成】書く内容の中心 段落相互の関係 【考えの形成】考えと理由や事例の関係	【題材】目的や意図 相手に伝わる 【構成】筋道 文章全体の構成や展開 【考えの形成】事実と感想、意見との区別 自分の考え
	内容	内容	内容
	1.主語・述語が明確な文を書く 2.「はじめに…次に…」などを使って、順序良く書く ・経験したままや見たまま ・思ったことや伝えたいこと ・感じたことや想像したこと 3.原稿用紙に正しく書く(セリフを書く) 4.あらすじに、感じたことや自分の経験を交えて読書感想文を書く ・簡単な読書記録を書く	5.「5W1H」を明確にして書く 6.4コママンガや4コマのお話を作るなど、起承転結を明確にして、書く 7.効果的な構成(始め・中・終わり)や段落を工夫したり、接続詞を意識して書く 8.新聞の主要な構成を知り、ミニ新聞を書く 9.相手に応じて、適切な構成・言葉づかいで手紙を書く 10.見出しと簡単な説明、絵や図・グラフなどを組み合わせてパンフレットを書く 11.最も心に残ったことに、経験や想像を交えながら、自分の考えを述べ、読書感想文を書く	12.事実と感想、意見を区別して段落や構成を考えて書く 13.引用したり、図表などを用いたりして書く 14.フリップなどの提示資料を工夫したプレゼンテーションを行う 15.完成した文章などを、読み返して、より良いものになるよう加筆・修正を行う 16.読んだ本について自分なりのテーマを設定し、本とテーマの関わりについて、読み手にわかるように経験や考えを交えて感想文を書く
読むこと	keyword	keyword	keyword
	【内容の把握】時間的な順序 事柄の順序 内容の大体 【解釈】重要な語や文 【解釈】場面の様子 登場人物の行動	【内容の把握】段落相互の関係 考えとそれを支える理由や事例の関係 【解釈】中心となる語や文 要約 【解釈】登場人物の気持ちの変化や性格 情景と場面の移り変わり	【内容の把握】事実と感想、意見との関係 文章全体の構成 要旨 【解釈】文章と図表 論の進め方 【解釈】人物像や物語などの全体像 表現の効果
	内容	内容	内容
	①文頭の言葉に注目し時間や事柄の順序を読み取る ②大事な言葉や文を選ぶ ・繰り返し出てくる言葉 ・まとめている文 ③場面の様子や登場人物の行動を読み取る ④文章全体を読んで、言葉や短い文章にまとめる ⑤様々な本を楽しんで読む ⑥学習した作家の他の作品を読む	⑦つなぎの言葉に気を付け段落相互の關係に着目する ⑧段落に小見出しをつけ、それぞれの關係をとらえる (テーマ、理由、例示、意見、まとめ…など) ⑨キーワードをとらえ、文章を要約する ⑩登場人物の気持ちの変化や性格を読み取る ⑪物語の冒頭と結末、場面の様子、人物に注目して全体を読む ⑫さまざまなジャンルの本を幅広く読む	⑬文章の構成や論の進め方を捉えて要旨を把握する ⑭文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけ、読み取る ⑮登場人物の關係や心情を、情景描写を基に読み取る ⑯古典を読み、昔の人の見方や考え方を想像する
言語の特徴 や使い方 ・ 我が国の言語文化	keyword	keyword	keyword
	【話し言葉と書き言葉】姿勢や口形、発声や発音に注意して 【文や文章】文の中における主語と述語の關係 【言語文化】昔話 神話 伝承	【話し言葉と書き言葉】言葉の抑揚や強弱、間の取り方 ローマ字 【文や文章】主語と述語の關係 修飾と被修飾の關係 指示語 接続語 【言語文化】短歌 俳句 慣用句 故事成語	【話し言葉と書き言葉】言葉の抑揚や強弱、間の取り方 ローマ字 【文や文章】主語と述語の關係 修飾と被修飾の關係 指示語 接続語 【言語文化】短歌 俳句 慣用句 故事成語
	内容	内容	内容
	1.口の形、声の大きさに気を付ける 2.主語と述語を見つける	3.簡単な単語をローマ字で読み書きする 4.短歌や俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ、音読をする 5.ことわざや慣用句、故事成語の意味を知る	6.ていねい語の使い方を知る 7.比喩や反復などの表現の工夫を見つける 8.共通語と方言の違いを理解する

授業改善

国語で身に付けた言葉の力



ほかの教科

算数
考えを説明する

生活科
観察カード

理科
実験のまとめ

家庭
献立の理由

社会・総合
調べたことをまと
める・発表する

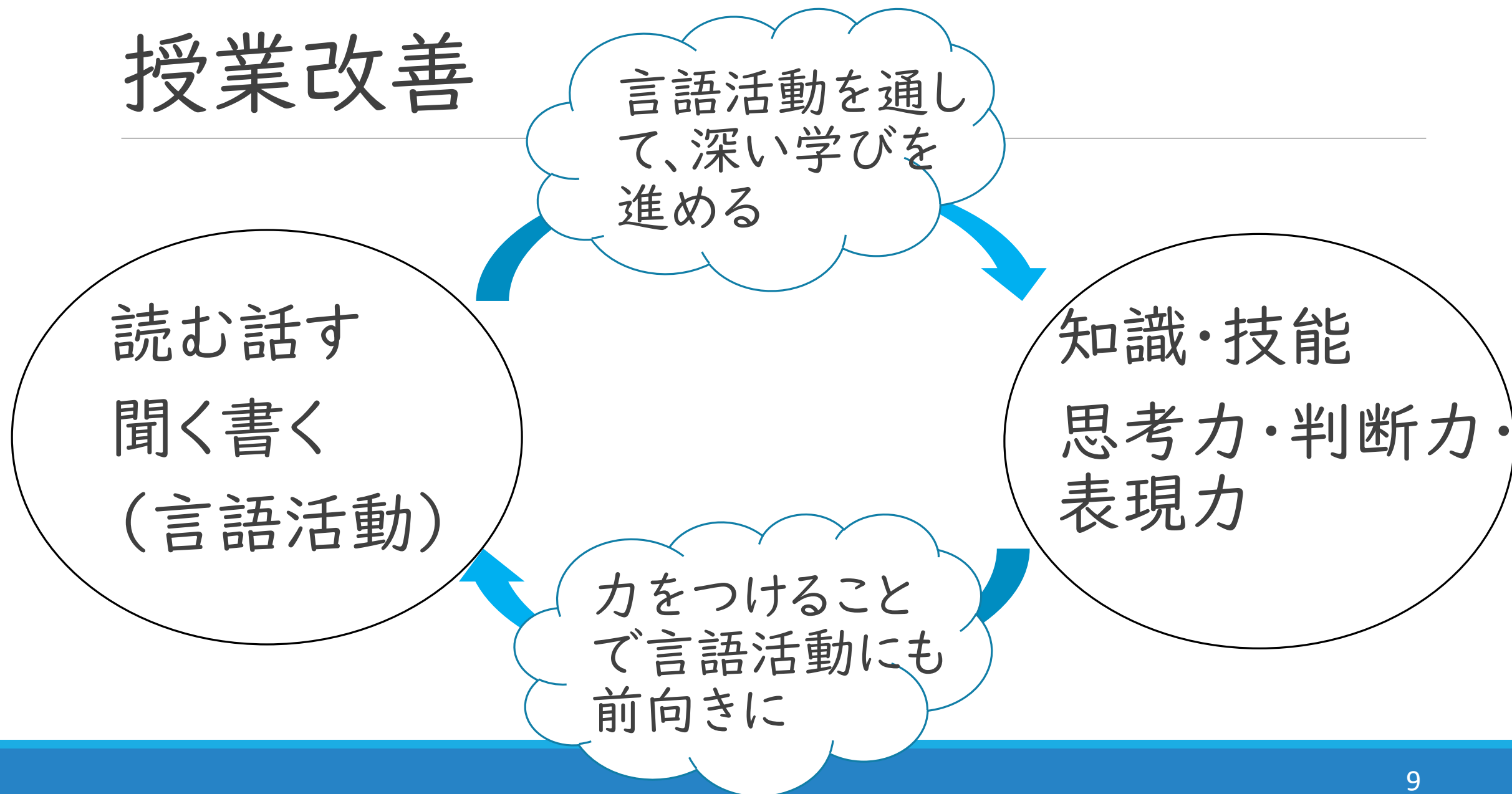
体育
チームで作戦
を立てる

外国語
経験を伝える

図工・音楽
鑑賞カード

道徳
ふりかえり
話し合い

授業改善



知識・技能の定着

宿題を通して

宿題の丸付けは担任外も協力してできる体制に

火曜から金曜は朝学

漢字の学習や計算のプリント、読解プリント

知識・技能の定着

寺子屋タイム

給食の準備の時間 当番でない児童



CSJ

木曜の下校の時間 宿題をして帰れる

地域のボランティアの方の協力

単元を貫く言語活動の設定（国語）

付けたい力（指導事項）に応じた言語活動の検討

単元の初めの1時間に単元全体の計画を確認

単元計画は教室に常時掲示

学習の流れ	単元の見通し	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25
① 学習計画を知り、単元の見通しを持つ。	② 大好きな登場人物の心に残るところを紹介するために、「ごんぎつね」の内容を理解しよう。	③ 紹介カードにまとめるために、登場人物の一番ジーンとしたところを見つけよう。	④ 紹介カードにまとめるために、一番ジーンとしたところを見つけよう。	⑤ 完成したカードを使って友達と「ごんぎつね」の紹介をしよう。	⑥ 大好きな登場人物の心に残るところを紹介するために、新南吉作品の内容を理解しよう。	⑦ 紹介カードにまとめるために、登場人物の一番ジーンとしたところを見つけよう。	⑧ 紹介カードにまとめるために、一番ジーンとしたところを見つけよう。	⑨ 完成したカードを使って友達と新南吉作品の紹介をしよう。			

登場人物のジーンとするところとわけについて
マイエモーショナルカードで紹介しよう！

並行読書を取り入れた学習活動

教科書教材で学んだことを並行読書教材にいかす

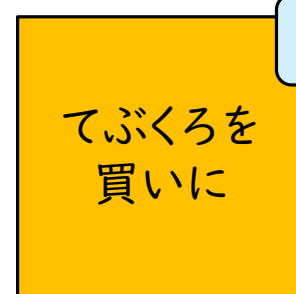
教科書教材

登場人物の気持ちの変化とその
きっかけについて読む力を学ぶ

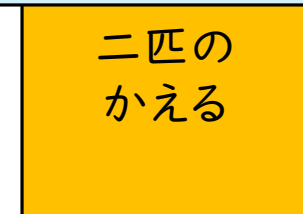


並行読書教材

同じように自分の選んだ教材
でも読んでいく



新美南吉作品



並行読書を取り入れた学習活動

読書を通して他者とつながる

自分の考えを伝える

同じ本を選んでいる人 同じ本を読んでいる人

目的をもって話し相手を選ぶ

[illegible]

図書館事務、学校司書との連携

中学校区や市民図書館から並行読書教材などの資料を収集

学校図書館の利用に関する研修（職員向け）

学校図書館の活用

図書館の環境整備

月曜の朝学・隙間時間の読書

ビブリオバトルの実施

居場所としての図書館→地域の方の協力

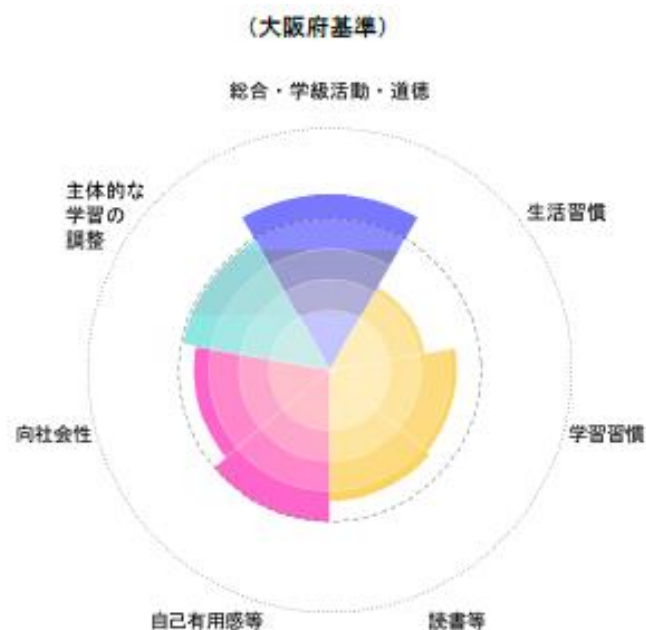


研究の成果

アンケート ・ 貸し出し冊数より

	R7 3月	R7 10月
話のつながりを意識し、大事なことを考えて、読んだり聞いたりしている。	76.5%	84.7%
自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して書いている。	77.2%	84.1%
自分がなぜそう考えたのかを相手に伝えることができる。	89.6%	90.1%
ふだん1日に教科書以外の本を全く読まない。 (不読率)	34.5%	32.6%
以前より読書への興味が高まった。	66.5%	77.5%
学校図書館 貸し出し冊数(10月末時点)	5082冊	9065冊

研究の成果・課題 学力調査より



○総合・学級活動・道徳

●生活習慣

	令和6年度	令和7年度
国語	0.88	0.91

全国平均を1としたとき

まとめ

- ・「言語活動を授業の中心に据えること」が、学び全体を支える基盤であることを実感
- ・国語科で培った力を他教科へつなげ、学びを広げる
- ・子どもたち一人ひとりの「ことばの力」を育む教育を継続